

輝け！シン尾花沢中

つたえゆかしい 校章よ おおむつましく 丘かげに

第131号
令和7年
11月25日

「いのちの教育講演会」振り返りからみる、尾中生の成長③

前号に続き、「いのちの教育」講演会の振り返りを紹介します。

■他との関係における生き方について

- ・これからは「人を傷つけないこと」「笑顔で接すること」「困っている人がいたら自分から進んで手伝うこと」を大切にしたいです。(3年女子)
- ・自分がされて嫌なことはせずに、相手を思いやれる人になりたいです。(2年女子)
- ・女性が大変なときは助けてあげたいと思いました。また、簡単に「死ね」とか「うざい」とか言うのではなくて、相手の気持ちを考えて発言しようと思いました。(2年男子)
- ・人が困っていたり傷ついていたりしたら、寄り添ってあげたいと思います。(3年女子)
- ・子育てなどで、女性に男性が寄り添うことを心がけていきたいと思いました。(3年男子)
- ・身近で起きている、自分では気づきにくい小さな暴力などにしっかり気づき、他人を大切にしようと思いました。また、将来のこともきちんとと考え、人との付き合いを大切にしたいと思います。いくら腹が立っても、相手にも大切に育ってくれる親がいるということを考えていこうと思います。(3年男子)
- ・さりげない優しさが誰かの助けになることを学びました。知らない人に優しくすることは難しいので、身近な人から優しく接して、慣れたらいろいろな人に優しくしていきたいと思いました。(3年女子)
- ・僕は、他人を思いやる心を持つことが大切だと思いました。自分も相手も心地よく生きていくことができると思ったからです。そのために、相手の立場を考えて、助けの手を差し伸べてあげようと思いました。(3年男子)
- ・自分も相手も幸せになることができるなんて、とても素敵なことだと感じました。「親も子供も寄り添いながら生きているんだな」と思い、「親にもっともっと感謝しなければならないな」と感じました。(3年女子)
- ・「L G B T Q」の方々への差別やハラスメント、カミングアウトの困難さなど、たくさんの課題があると知り、更に多様性が広がればいいなと思いました。「L G B T Q」については偏見を持たず、1人ひとりの個性を大切にしていきたいと思いました。(2年女子)



3回にわたって「いのちの教育」講演会の振り返りを紹介してきました。

いのちを考えることは、自分がどう生きていくかを考えることです。尾中生が、自分以外の考えに触れることで、さらなる成長を遂げることを期待しています。 【文責：校長 工藤雅史】